

地方創生が声高に叫ばれる昨今、私たちの街からは「まちなみ」の個性が次第に失われつつあります。しかし地域には光のあてられていないものが沢山埋もれており、住民とともにそれを発見し育てていくことは、地域が誇りを持って持続していくための重要課題となっています。一方歴史的な建造物は地域資産として貴重なものが多く存在しているものの、「保存」と「取壊し」の対立関係になりかねない課題を孕んでおり、これを市民の総意として方向付けていく知恵を必要としています。そこで文化的空間継承の視点から、保存とリノベーションのあり方について実施されたプロジェクトを紹介しつつ、地域の誇りを守り育てていく方策についてフォーラムを開催いたします。

テーマ

文化的空間継承の潮流

①「八幡浜市立日土小学校の保存と改修・改修後 2012 年重要文化財指定について」

花田佳明

はなだよしあき：神戸芸術工科大学デザイン学部環境・建築デザイン学科・教授

日本の近代建築についての研究とその保存再生を専門とし、愛媛県八幡浜市の日土小学校や兵庫県篠山市立篠山小学校などを再生に関わってきた。最近では古い木造アパート等のリノベーションも手掛けている。主な著書「初めての建築設計ステップ・バイ・ステップ」(共著、彰国社、2010年)、「建築家・松村正恒とひとつのモダニズム」(鹿島出版会、2011年)他。主な受賞、2012年日本建築学会賞(業績)、2013年 Architectural Heritage Conservation Award他。

②「高野口小学校の保存と改修・改修後 2013 年重要文化財指定について」

本多友常

ほんだともつね：摂南大学理工学部住環境デザイン学科・教授

自然発生的な建築と生活環境の形成に視点をおき、特に過疎高齢化する農山漁村集落の魅力とその発見を通して、住環境デザインの原点を求めている。また設計の本来あるべき姿について思考を深めるべく、住宅、公共施設の設計を手掛けてきており、2011年には高野口小学校の改修、改築工事及び樫野埼灯台官舎の修理復原を完成させた。著書に「ゆらく住まいの原形」「建築ノート」、「建築概論」、「建築設計学」他。2013年日本建築学会賞(業績)他。

③「オランダにおける建築保存改修の手法」

笠原一人

かさらはかずと：京都工芸繊維大学大学院・助教

専攻は近代建築史・建築保存改修論。博士(学術)。編著に『記憶表現論』(昭和堂)、共著に『近代建築史』(昭和堂)、『日本近代建築大全西日本篇』(講談社)、『関西のモダニズム建築』(淡交社)、『村野藤吾ー建築とインテリア』(アーキメディア)他。月刊誌『建築ジャーナル』に、オランダを中心としたヨーロッパにおける建築リノベーションの手法を紹介する記事「建築保存のポリエードル」を連載(2012-13年)。

④「母校西脇市立西脇小学校の保存改修を働きかけている市民の声」

吉田稔美

よしだとしみ：絵本作家(イラストレーター)

グラフィックデザイナーを経て、イラストレーターとして広告媒体や出版物を手がけ、絵本作家として、国内外で絵本、児童書挿絵の著作を出版、のぞきカラクリのしかけ絵本「ビープショー」の研究と制作、各地で展覧会を開く。東京都在住の西脇市出身市民として、県の景観形成重要建造物に指定されている母校の西脇小学校の保存改修を願い活動中。2010年にはアートイベントにて絵本紙芝居と木造校舎見学会を主宰、市原駅保存列車2両に市民とともにペイント。

第5回 住環境デザインフォーラム 「文化的空間継承の潮流」

主催： 摂南大学理工学部住環境デザイン学科
共催： 摂南大学地域連携センター
後援： (公社)日本建築家協会近畿支部
(社)大阪府建築士会
(社)日本建築協会

開催日時：

2014年12月6日(土)
14時～16時30分

会場： 摂南大学寝屋川キャンパス
5号館5階551教室

参加費： 無料
定員： 100名(先着順)

申込不要
参加無料

摂南大学アクセス：京阪本線「寝屋川市」駅から京阪バスで15分バス停「摂南大学」下車
お問合せ先 E-Mail：t-honda@led.setsunan.ac.jp